



ヤマビルに ご注意ください!

ヤマビルとは

陸に棲むヒルで、体長は2～8cmほど。
湿気の多いところを好みます。
二酸化炭素や体温を感知し、
皮膚にとりついて吸血します。



活動時期

5月～11月頃

**雨中雨後の蒸暑い日は
特に活動が活発です。**

ヤマビル被害について

人間や動物に触れると、前後の吸盤でシャクトリムシのように移動し、
皮膚の柔らかいところにとりついて吸血をします。

衣服の中に入り込んで吸血することもあり、靴下などの繊維の目が
粗い箇所であれば、その隙間から吸血する場合があります。

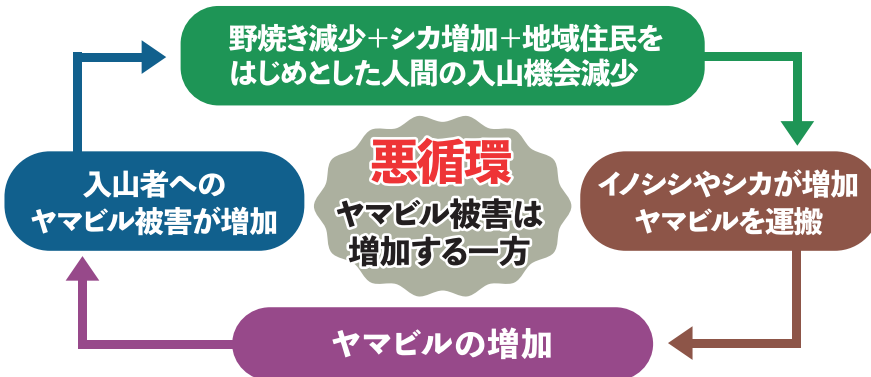
しっかり対策して
もっと山を楽しもう!



トレイルラン日本代表 森本幸司

南阿蘇のヤマビル被害の現状

南外輪山山麓では近年、ヤマビルの増加が
地域の住民を悩ませています。
理由として人が山に入る機会が減少や、
シカの増加、野焼き面積の減少などが挙げられます。



南阿蘇のヤマビル 生息確認エリア



Google Earth

ヤマビル対策については裏面をチェック! 



阿蘇フィールズランニング実行委員会

— 事務局 —

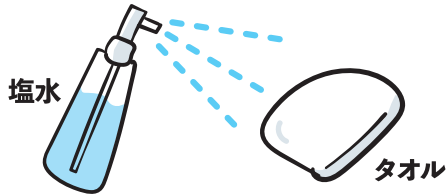
〒869-2307 熊本県阿蘇市小里781 ASO MILK FACTORY 内
TEL:080-7577-2505(受付時間:平日9:30~17:30)



ヤマビルから身を守るために

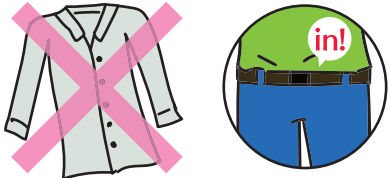
首

塩水をスプレーした
タオルをまく



服

ボタンのついたシャツは避ける
シャツの裾はズボンに入れる



足

ズボンの裾を
靴下の中に入れる
靴下は長めで
厚手のものを



靴

20%の塩水をつけた
サポーターを靴の上に巻く



塩水をスプレーしてもいい



布や繊維製の靴は塩水を
スプレーしてよく乾かす

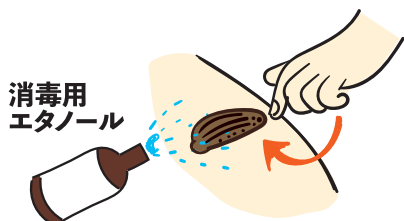


※ムラなく塗ることが大切です!

もし被害にあってしまったら

付着・吸血されたら

消毒用エタノールなどを
かけると取れやすいです。



吸盤を剥がすようにして、爪でこそげる。塩、消毒用エタノール、虫除けスプレーなどをかけると離れ落ちたりして取れやすいです。

その後、必ず退治!

塩や虫除けスプレーなどを
かけて必ず駆除してください。



※踏みつけても効き目がありません。

ヤマビルは吸血後1ヶ月程度で1~9個の卵のうを産みます。さらに1ヶ月後ひとつの卵のうから1~8個体の小ビルが誕生します。吸血したヒルは産卵をして増えてしまいますので、必ず退治してください。

傷あとはどうするの?

傷口からヒルジンを押し出すように
すれば治療が早いようです。



※傷口は消毒し、絆創膏などで保護してください

吸血時に「ヒルジン」という物質をだすため、痛みを感じず、傷口から出血が続きます。血と一緒にヒルジンを押し出すようにすると治療が早いようです。その後虫さされ軟膏を塗布し、絆創膏で保護してください。